



# SNSでトラブルに あわないための ワークショップ学習

# 利用条件及び免責事項

この文書は、SNS教育のスライド資料をご利用いただく際の条件を定めたものです。以下の内容に同意いただけない場合、この資料のご利用をお控えください。

1. この資料に含まれるテキスト等のコンテンツに関する知的財産権は、一般社団法人日本リスクコミュニケーション協会（以下「RCIJ」といいます）又はRCIJに権利を許諾した第三者に帰属します。
2. この資料に事例として登場するエピソードはすべて架空のものであります。
3. 利用者は、この資料を非営利目的でのみ利用することができます。この資料（二次的著作物を含みます）を、その全部又は一部を問わず、営利目的、商業利益、私的な金銭的報酬のために、使用、複製、配布、アップロード、ダウンロード、販売、改変またはその他の方法で利用することはできません。
4. 本資料の利用は、利用者自身の責任において行っていただきます。RCIJは、本資料に間違いがないこと、最新の情報であること、必要な情報が漏れなく掲載されていること、誤解を招く表現でないこと、第三者の権利を侵害していないこと、利用者のニーズに適合していることなどを、一切保証しません。また、本資料に関するRCIJのウェブサイトのURLや、本資料の内容は、予告なしに変更又は削除することがあります。
5. 本資料の利用に起因して発生したトラブル等について、RCIJは、責任を負うものではありません。

はじめに



# 炎上とは？

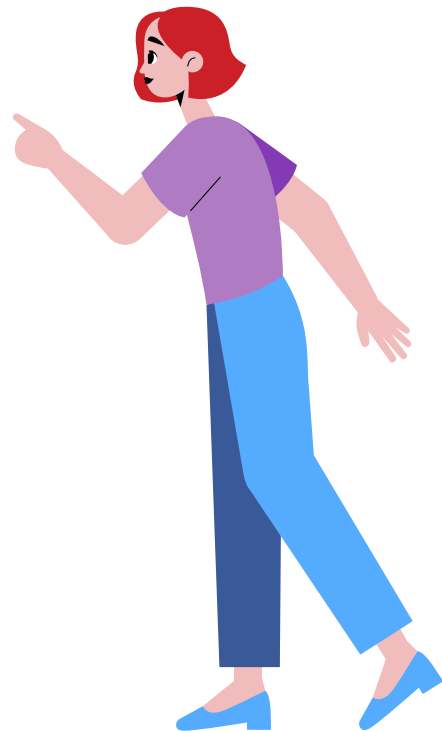
「炎上」は、インターネットやSNSで特定の人やことに対して、たくさんの人が悪いことを言ったり、投稿したりすることです。



炎上すると、その人やことに関係する情報がとても早く急に広がり、多くの人々が反応することになります。

1,570

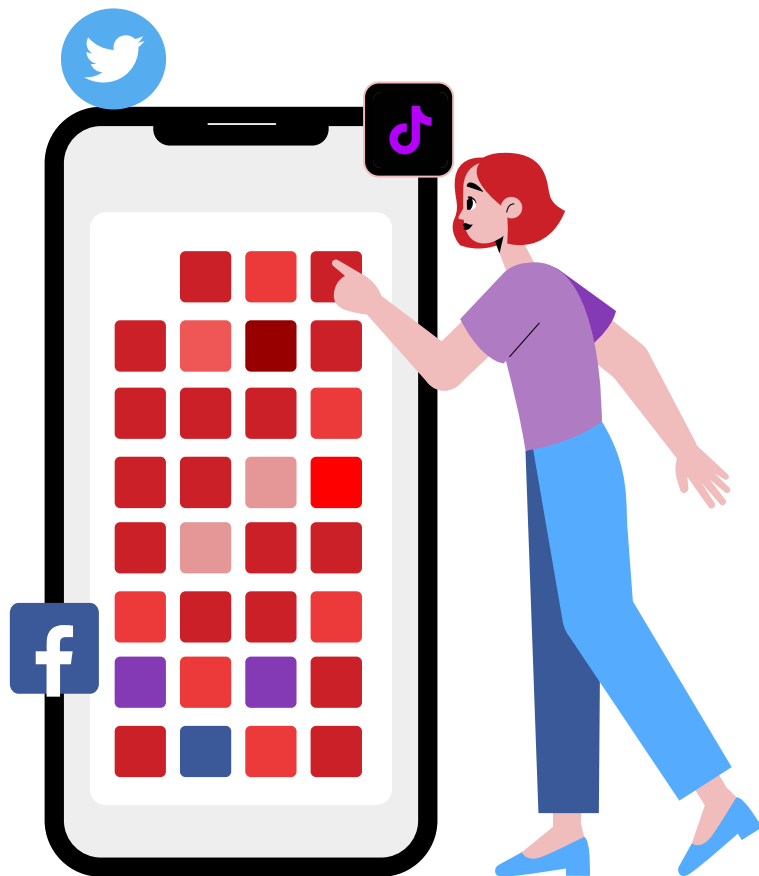
これは何の数字だと思えますか？



# 1,570 件\*

これは、2022年に炎上した数です。  
平均すると1日に4.3件炎上している計算  
になります。

\*出典:シエンプレデジタル・クライシス総合研究所  
「デジタル・クライシス白書2023」



# 炎上は人ごとだと思いませんか？



# この授業のゴールは、

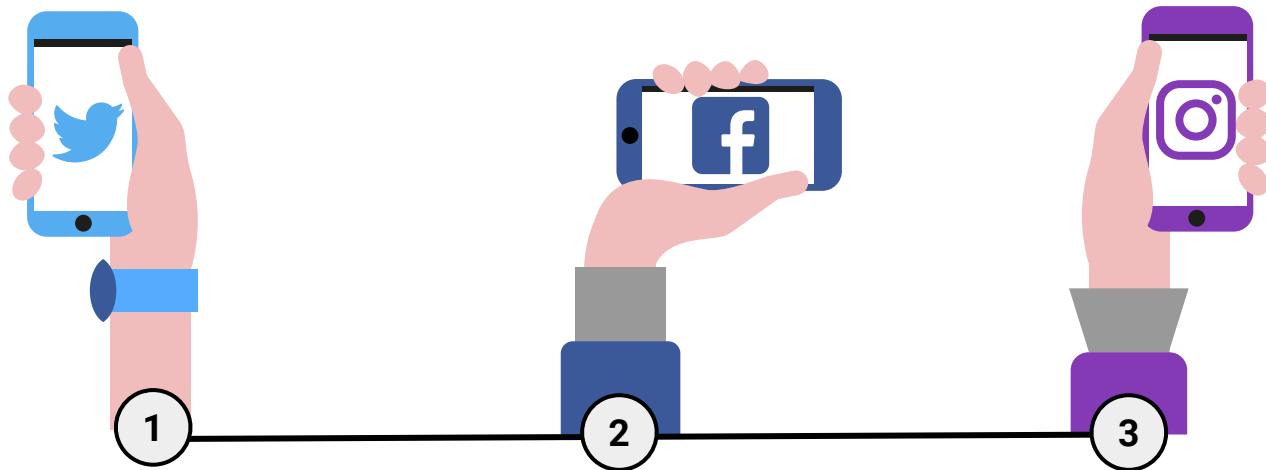
SNSは使い方しだいで、あなたやあなたの家族、他の人にとって大変なことが起こるかもしれない！  
ということ、わかってもらうことです。





# INDEX

## 今日の内容



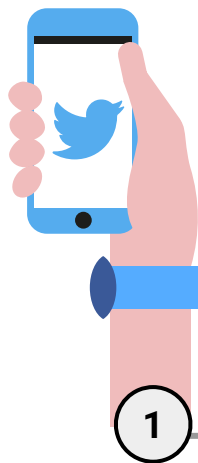
ワークショップ①  
「SNSのリスク」

ワークショップ②  
「SNSを使う時に  
気をつけること」

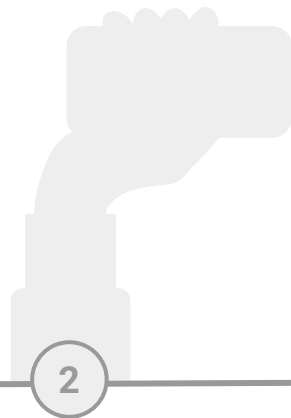
もしも、あなたが  
被害者になったら

# INDEX

## 今日の内容



ワークショップ①  
「SNSのリスク」



ワークショップ②  
「SNSを使う時に  
気をつけること」



もしも、あなたが  
被害者になったら

# WORKSHOP

( 5 分 )

友達に注目してもらいたくて、レストランでちょっとイタズラする様子を撮った動画をSNSにアップしました。

さて、この後どんなことが起こると思いますか？各グループで相談して、発表してください。



もし炎上したら・・・





びっくりするくらい早いスピードで、世界中に情報が広がります。

迷惑行為は「犯罪」になる可能性があります！

もしお店の評判が下がり、<sup>ふうひょう ひがい</sup>風評被害で商売  
が立ち行かなくなれば、いたずらしたレス  
トランから「<sup>そんがい ばいしょうせいぎゅう</sup>損害賠償請求」という<sup>ほうてき せい</sup>法的請  
<sup>ぎゅう</sup>求をされ、<sup>ふ ぼう こう い</sup>不法行為としてお金をたくさん  
払うことになるかもしれません。

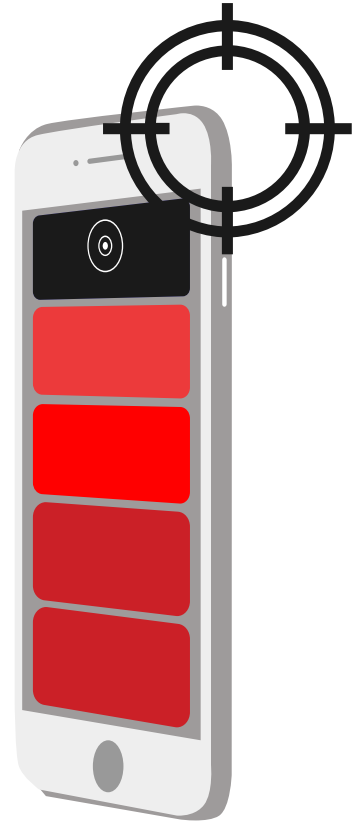
未成年なら、あなたの家族や<sup>ほごしゃ</sup>保護者がこの  
お金を払うことになるかもしれません。



迷惑行為は「犯罪」になる可能性があります！

さらに、投稿したSNSを消したとしても、「デジタルタトゥー」といって、投稿がずっとインターネット上に残るかもしれません。

これにより、知らない人から嫌がらせをされるかもしれません。あなたの家族が仕事をクビになったりするかもしれません。また、大きくなったとき、仕事をしたいと思う会社に入れなかったり、好きな人に結婚を断られたりするかもしれないのです。



# WORKSHOP

## ( 5 分 )

ある芸能人が昔犯罪をしたと、ニュースで話題になっています。この芸能人の公式アカウントにはたくさんの方が批判するコメントが書きこまれています。あなたも他の人と同じように悪ふざけで、自分の捨てアカウントで「殺す」とコメントしました。

さて、この後どんなことが起こると思いますか？各グループで相談して、発表してください。





ひぼうちゅうしょう

誹謗中傷は「犯罪」になる可能性があります！

「殺す」「こらしめる」などの投稿は、それ自体が犯罪行為そのものであり、威力業務妨害や脅迫、強要、名誉毀損、侮辱といった大きな罪になる可能性があります。

いずれも逮捕されたり、刑事裁判で実刑になりうる重大な犯罪行為で、後から「冗談でした」といいわけしたところで許されるレベルではありません。

警察に刑事事件として扱われたり、民事訴訟でお金を請求されるかもしれません。



ひぼうちゆうしょう

誹謗中傷は「犯罪」になる可能性があります！

さらに、

ただの「<sup>てんさい</sup>転載」や「リツイート」でも、たとえ  
その<sup>かくさん</sup>拡散に悪気がなくても、<sup>ばいしょうせきにん</sup>賠償責任が発生する  
可能性があります！

ひぼうちゆうしょう

誹謗中傷とは、言葉で<sup>ぶじょく</sup>侮辱や<sup>きょうはく</sup>脅迫をしたり、  
デマや嘘を言いふらしたりして他人を傷つけたりすることです。



# INDEX

## 今日の内容



# WORKSHOP

( 5 分 )



ネットやSNSに何かを投稿するとき、どんなことに気をつければいいと思いますか？

各グループで相談して、発表してください。

# 例えば

「その投稿を自分の家の玄関ドアに貼れるか」  
その光景を想像して、投稿するかどうかを決める

「目の前にその人がいても同じことが言えるか」  
その光景を想像して、投稿するかどうかを決める



# 表現の自由という責任

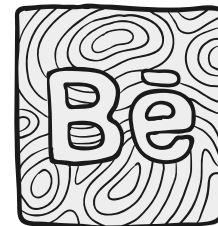
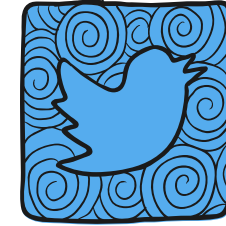
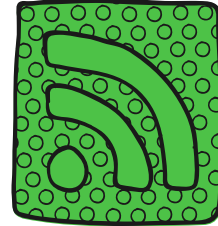
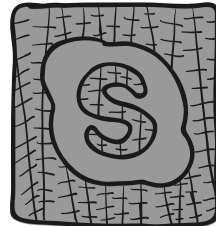
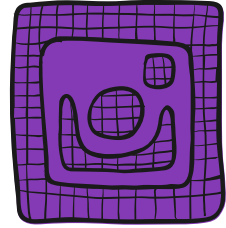
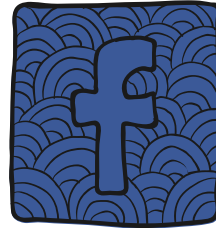


表現の自由とは、何を言ってもよい、何をしても許されるという意味ではありません。

何を言っても自由、どんな動画を撮っても自由だけど、それは「**他の人に迷惑をかける限り**」というのが表現の自由です。

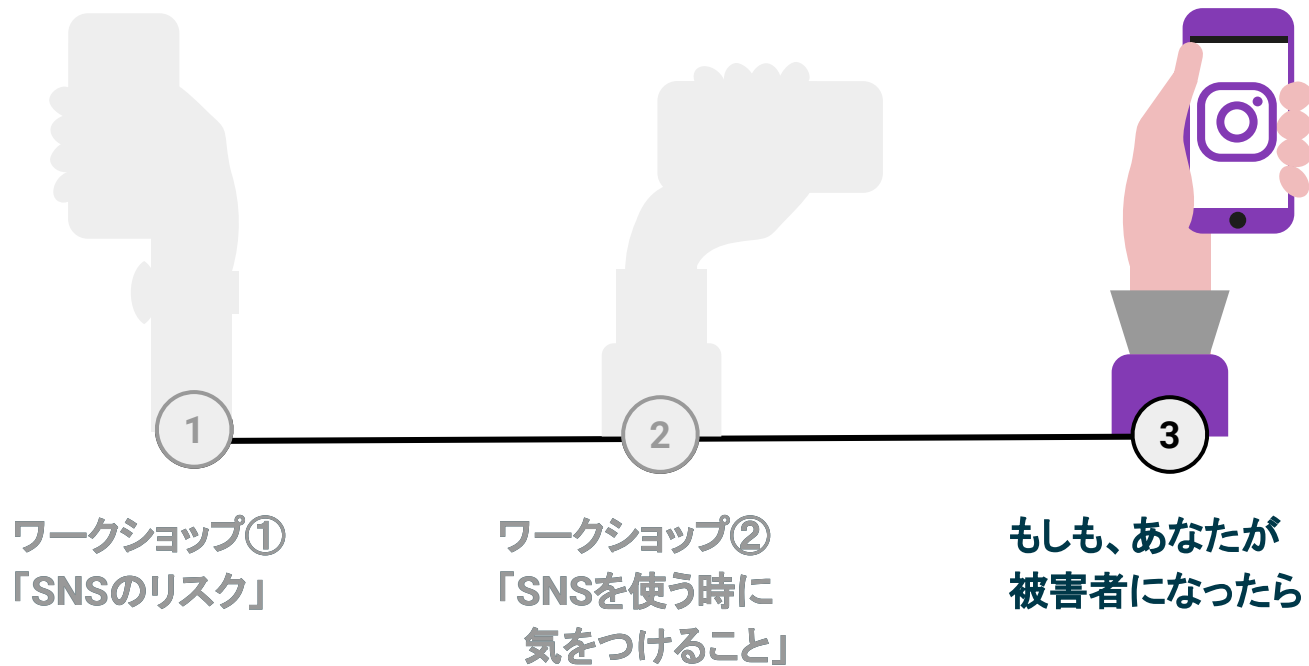
# ネットと現実は変わりません

最近の<sup>ほうかいせい</sup>法改正で、投稿した人間が誰なのかを確認する手続きがよりスムーズに行えるようになりました。ネットは身分がバレる場所です！つまり、名札を付けて街を歩いていることと同じということです！



# INDEX

## 今日の内容





# もしも、自分が被害にあったら



まずは、早めに信頼できる大人に相談しましょう。

もし、自分の名誉やプライバシーにかかわる権利や、肖像権などが犯された場合、サイト管理者などに対して削除などをお願いするときは、インターネット上での、違法・有害情報相談センターに相談できます。相談自体は無料で、具体的な削除依頼のやり方などをアドバイスしてもらえます。また、各地の弁護士会の法律相談センターなど、弁護士に相談してみることも有用です。

# 相談できる所

違法・有害情報相談センター

<https://ihaho.jp/>

誹謗中傷ホットライン  
(セーファーインターネット協会)

<https://www.saferinternet.or.jp/bullying/information/>

24時間子供SOSダイヤル  
(文部科学省)

0120-0-78310





# THANKS!

ありがとうございました！

連絡先

[contact@rcij.com](mailto:contact@rcij.com)

2023年2月14日

CREDITS: This presentation template was created by Slidesgo, and includes icons by Flaticon, and infographics & images by Freepik

作成：一般社団法人日本リスクコミュニケーション協会  
監修：小川綜合法律事務所 所長 小川 義龍  
国際大学 准教授 山口真一